

ふじさわSDGs共創パートナー取組実績報告書

2022年度の取組実績を次のとおり報告します。

報告日	2023年5月15日
-----	------------

企業・団体名	株式会社OSGコーポレーション
--------	-----------------

No	具体的な取組内容	2023年度の取組予定
1	<p>2022年10月20日（木）にオンラインセミナーを開催 テーマ『みんなで拡げる給水スポット』 近年、マイボトルの携行による給水スポットの利用が、社会問題化する熱中症予防や海洋資源の保護に関わるプラスチックごみの使い捨てを削減する具体策として注目を集めている中でマイボトル利用に取り組む学生の声をお伝えしました。 藤嶺学園藤沢高等学校生徒会の皆様に登壇していただき、マイボトル啓発やビーチクリーン等の活動を紹介しました。</p>	<p>2023年5月16日（火）オンラインセミナーを開催 地域に届くSDGs課題実践セミナー「マイボトル×給水スポットがつなぐ熱中症予防対策・環境育成対策・感染症対策」 自治体での取り組み事例を紹介。</p>
2	<p>日本記念日協会にて「ステハジ」の日が記念日承認されました。 毎年6月8日を「ステハジ」の日として制定。日付は「使い捨てから生じるロスはずかしい」より6と8で「ロス（6）は恥（8）」の語呂合わせに由来しています。 記念日をキッカケに2022年5月30日～6月8日の期間を「マイボトル持ち歩きWeek」と題し、社内で啓発イベントを実施致しました。</p>	<p>今年度も5月30日～6月8日にかけて社内イベント企画を予定。</p>
3	<p>2022年11月19日（土）「ステハジ」ビーチクリーンを開催。 日本とアジアをつなぐビーチクリーンと題して、フィリピン・インドネシア・日本をオンラインで結び、子どもから大人の幅広い世代と企業・自治体・団体が一緒になって砂浜の細くなったプラスチック（マイクロプラスチック）ごみを掘り起こしたり、集まったマイクロプラスチックごみを使って「ステハジ」アート体験をしたり、楽しく啓発活動を行いました。</p>	<p>今年度も年1回～2回ビーチクリーン活動を継続</p>

「みんなで広げる給水スポット」

こどものコエを大人のエコにつなげる

近年、マイボトルの携行による給水スポットの利用が、社会問題化する熱中症予防や海洋資源の保護に関わるプラスチックごみの使い捨てを削減する具体策として注目を集めています。今回のセミナーでは、マイボトル利用に取り組む学生の声や、インクルーシブな街づくり等の内容をお伝えいたします。

【 高校生が講師として登壇 】


明星学苑高等学校

藤嶺学園藤沢高等学校

「高校生として何か社会に貢献できることはないだろうか？」

「SDGsに貢献するために、どんなことができるだろうか？」

それぞれの思いと考えを共有し実践した

「マイボトル啓発」「ビーチクリーン」などの事例を発表します。



【 屋外でも給水が新たな日常 】



のどが乾いたら自動販売機やコンビニで、ペットボトルを無意識に購入してる環境から公園などの屋外への給水スポット 設置についての事例を紹介いたします。

■ 開催日： 2022 **10/20** ^T_U **10:00**-11:00

※配信形式： Zoomウェビナー

こちらのQRよりお申込みください。 ※お申込み期限：10月18日23:59受信分までとなります。



■ お問い合わせ：(株)OSGコーポレーション mail：osg-seminar6.22@osg-nandemonet.co.jp

藤嶺学園藤沢高等学校生徒会執行部 活動報告

SDGs

～環境問題に対する取り組みについて～

学校概要

学校名 | 学校法人藤嶺学園藤沢中学校・高等学校

創立年 | 1915年5月13日←今年は創立107周年です。

生徒数 | 高校・510人 ● 中学・290人

時宗総本山の清浄光寺(遊行寺)の敷地内に建てられた学校です。

2015年には、100周年記念館が建てられました。

建学精神は、『質実剛健』・『勇猛精進』です。



藤嶺藤沢生徒会の概要

- 生徒会執行部役員数・7人(会長、副会長×2、書記長、書記、会計監査×2)
- 上記の他にも、風紀委員長や行事会計、体育長、文化長を設置しています。
- 令和3～4年・第107代生徒会執行部 | 令和4～5年・第108代生徒会執行部
- 任期・9月2日～翌年9月1日 (生徒会選挙は7月に実施)
- 『生徒に寄り添い、生徒に頼られる組織として』をモットーに活動しています。



生徒会室における設備・備品拡充(3～5月)

- 新年度に入ったと同時に、生徒会室の備品や設備の拡充を行いました。
- 印刷機や電子計算機(パソコン)、清掃活動で使用するトングや軍手もこの時に、納入しました。
- また、SNS上における生徒会のアカウント開設も行いました。

(↑ 学校に関する情報や生徒会の活動報告、お役立ち情報を随時発信しております。)



←TWITTER(青)、INSTAGRAM(青/紫)

海岸清掃 企画・立案開始(6月)

・6月中旬頃から、『高校生として何か社会に貢献できることはないだろうか』と思い始めて、考えた結果、身近な湘南海岸を清掃しようという結論に辿り着きました。

・6月から、企画立案を開始しました。まず、始めに「参加人数」、「参加者対象」、「清掃場所」、「実施日時」等を決めました。

※藤沢市内高校生徒会情報交換会に参加し、海岸清掃の情報を共有しました。後日、参加の有無を確認。

報告書	
所属	藤嶺学園藤沢高等学校生徒会
氏名	村瀬 一海・伊藤 志音
件名	藤沢市内 高等学校 6月の情報交換会
1) 概要	下記の通り、実施しました。
主催	私立藤沢翔陵高等学校生徒会
実施日	令和4年6月21日(火) 16時00分～18時00分
対象	藤沢市内に位置する高等学校の生徒会
場所	各学校(オンライン会議)
2) 内容	
議題	活動報告、今後やりたいこと、合同制作、行事、校則 等々
詳細	<u>活動報告について藤嶺からは、「目安箱の再整備」、「ポスター管理」、「内部規程整理」、「行事運営(補助)」などを報告しました。また、どうすれば学校をよりよく運営することができるのか。という点についても話し合いを行いました。</u> <u>今後やりたいこと(任期がまだあれば何をしたいかという質問で)、「他の学校さんと交流会を開催したい」と伝えました。協議の中ででたのが「文化部交流」などで、「文化祭までは</u>

←情報交換会の報告書

関係機関への届け出(7月)

- 6月に決定した事項を「かながわ海岸美化財団」、「神奈川県立湘南海岸公園」に報告しました。
- 海岸公園には、清掃に関して連絡をする必要はありませんでしたが、清掃当日は気温が高くなる予想だったため、万が一のことを考え、多目的ホールを貸して頂きました。
- 最終的に、清掃用のトング20本とゴミ袋20(可燃10、不燃10)枚、清掃中の旗をお借りして、軍手20セットと清掃活動中の腕章を藤嶺学園藤沢高等学校生徒会執行部が用意しました。



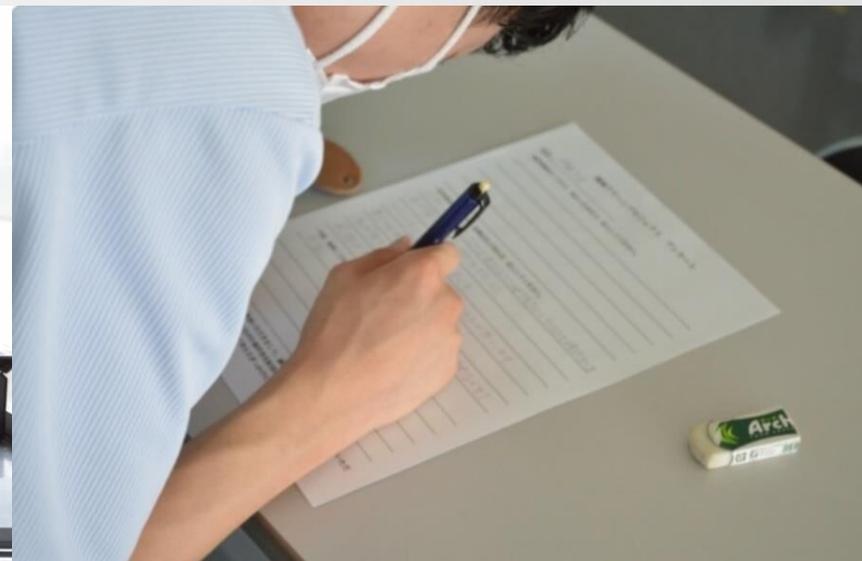
海岸清掃当日（8月）

- 8月8日 市内の高校3校合同で海岸清掃を実施しました。
- 多目的ホールで、諸注意を説明した後、約1時間半清掃活動を行いました。
- 特に花火や煙草の他に、今、問題になっているプラスチックのゴミが多かったです。



情報交換・反省会

- 海岸清掃後、清掃活動についての反省会を行いました。
- 清掃活動についての感想を参加者から聞きました。



2年役員 K,Yさん

地域に貢献している実感がもてて、とてもやりがいがあった。「ありがとうございます。」と、通りがかった方に声をかけて頂けた。他校の人と親交を深め、文化を知れた。

暑い中の清掃はキツイのではないかと思っていましたが、他校の人と交流できたり、活動自体やりがいがあって没頭できたり、とても楽しかったです。鶴沼海岸は、意外と綺麗でした。

2年役員 I,Mさん

他校生、他学年の人とたくさん話せてよかったです。(清掃の班が) 3人組という人数がとても調度よかったなと感じます。また「ありがとうございます。」と声をかけてくださる方がいてとても嬉しかったです。各校から参加する人数や参加校を増やして規模を大きくしてもいいなと思いました。(今回の企画がとても良かったので!) その場合は、清掃場所を増やしてもいいなと思いました。また、機会があれば、ぜひ一緒に(海岸清掃)活動したいです。

1年役員 M,Sさん

いつもはあまり行く機会がなかった海岸に足を運び、実際の海岸の状況を自分の目で見る事ができたこと。また、その状況を受け、他校の方々と協力し、清掃できたこと。少しでも海岸をきれいにする力になれたことが嬉しかったです。

範囲を広げると良いかもしれないと感じた。海岸が思った以上にとてもきれいで、あまりゴミがなかったのも、ゴミが多くなる時期、時間を考えて開催すると仕事をしたという達成感が大きくなるので良いと思う。(例、花火大会の次の日など)

SDGs という大きなテーマに対して、高校生の自分たちができること、自分たちだからできることを考え、取り組むことができて良かったです。

県立藤沢西高等学校

3年 T,Kさん

今一度ゴミについて見直すいい機会となった。ゴミの種類を見てポイ捨てされたであろう物がほとんどで、身勝手に行動しないようにしようと思った。

ゴミもの種類はタバコ、花火が多く燃えやすいものが多かった。自分も分別には気をつけていきたいと思った。

まずは、身近なところから...

SDGS、環境問題について考えると言っても、
『何から始めればいいのか？』と思う人が大半だと思います。
ですから、難しいことは考えず、まずは『身近なところ』から。

例えば...

海岸清掃





本校生徒が自身の
水筒に給水している場面
(マイボトル運動)



【最後に】

「SDGSに貢献するために、どんなことができるんだろう？」

そう考えたとき、真っ先に思いついたのが清掃活動でした。清掃活動は袋さえあれば、誰でもできるとても簡単な活動です。この他にも、日頃から、マイボトルやマイ袋を持ち歩くなどもすぐに取り組むことができます。

私たちが真剣に考えなければならない環境問題。まずは、身近なところから始めてみるのはいかがでしょうか...？

本会では、海岸清掃以外にもSDGSに貢献できること。また生徒会として学校や生徒の為に何ができるかというのを日々話し合っています。

一人でも多くの方が、環境問題(SDGS)について考え、行動してくれることを願っています。

以上で、藤嶺学園藤沢高等学校生徒会執行部からの発表を終わります。

ご清聴ありがとうございました。



TOHREI FUJISAWA STUDENT COUNCIL



日本記念日協会 認定

「ステハジ」の日



一般社団法人

日本記念日協会

Japan Anniversary Association



一般社団法人
日本記念日協会
 Japan Anniversary Association

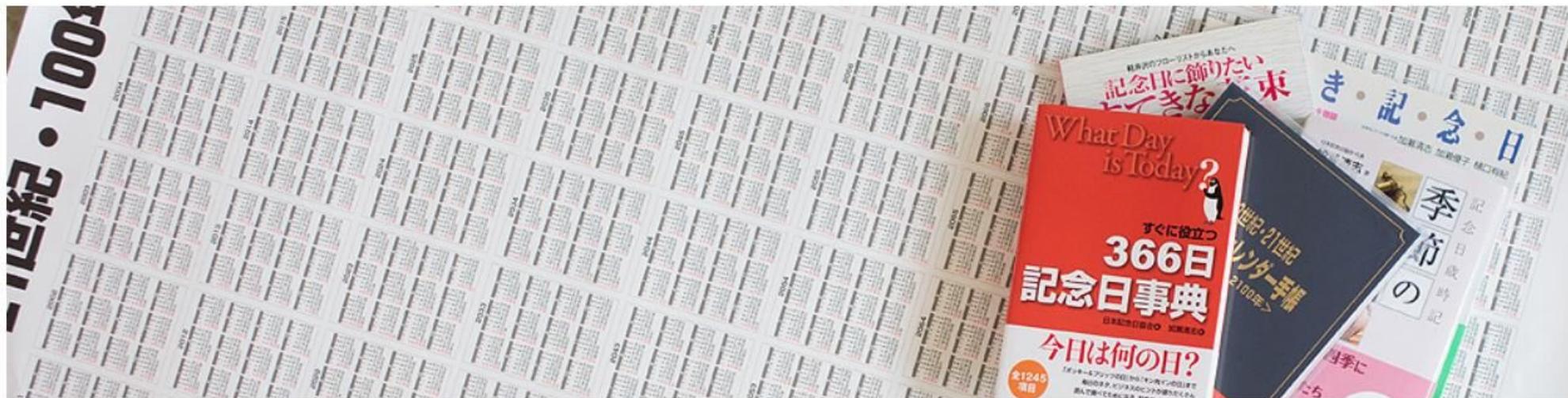
記念日の検索

記念日協会について

記念日を登録する

周年記念を登録する

お問い合わせ



今日の記念日

日付検索 キーワード検索
 5 月 25 日
 いずれかを含む すべてを含む

< 5月25日 (水) >

新しく登録された記念日

・「ステハジ」の日	6月8日	・特許翻訳を学ぶ日	10月10日
・チョコQの日	9月9日	・クルミツ子の日	9月30日
・情報サイト・COMUGICOの日	7月6日	・斎藤茂吉記念日	5月14日
・電動アシスト自転車「ViVi」の日	6月6日	・ステンレス316Lジュエリーの日	3月16日
・ウエディングフォトの日	8月10日	・国府津（こうづ）の日	5月2日



「ステハジ」の日

6月8日：6（ロス） 8（ハジ）

「ステハジ」の日とは、“使い捨て”は“恥ずかしい”という考え方を通して
“使い捨て”から生まれる社会課題、「海洋プラスチック問題」「衣類ロス」
「食品ロス」などの解決の為、リデュース（ごみを増やさない／減らす）へ
の行動変容のキッカケにして頂くことが目的です。



5月30日

ごみゼロの日



6月5日

環境の日



6月8日

「ステハジ」の日

6月8日：6（ロス） 8（ハジ）



5月30日～6月8日までの期間

「マイボトル持ち歩き Week」

5月30日（ごみゼロの日）から6月8日（「ステハジ」の日）までの期間、
ごみを増やさない（リデュース）習慣を啓発。

ペットボトルを自動販売機で買うを、みんなで毎日マイボトルで飲みものを持ち歩くことから始めてみませんか？

「マイボトル持ち歩き Week」 “Myチャレ”

期間：5月30日(月)～6月8日(水)

マイボトル啓発チャレンジ

STEP 1

- ①毎朝の朝礼でコメント発表者が「私のmyチャレエピソード」を発表して頂きます。



STEP 2

- ②朝礼の最後は、参加者全員で「マイボトル」を持って掛け声“今日もみんな、Myチャレ”!!



今日もみんな
声掛けちゃるぞー!!

STEP 3

- ③毎日業務終了前に「自身の1日の給水量」と「マイボトル啓発した人数」をGoogleフォームで報告してください。

下記3点の計測を行い 取組を具体的に可視化していきます!!

◆ペットボトル削減本数 ◆CO2削減量 ◆マイボトル啓発人数



「Myチャレ」報告フォーム

5月30日（ごみゼロの日）から6月8日（「ステハジ」の日）までの期間、ごみを増やさない（リデュース）週間を啓発してまいります。マイボトルで飲み物を持ち歩き、毎日業務終了時に「1日の給水量」と「マイボトルを啓発した人数」を報告ください。



「ステハジ」プロジェクト
さあ！みなんなでサステナブルはじめよう



会社概要

社名: 株式会社OSGコーポレーション
(東証JASDAQ: 6757)

本社: 大阪市北区天満 1-26-3

代表者: 代表取締役会長兼CEO 湯川 剛
代表取締役社長 山田 啓輔

設立: 1970年8月29日

社員: 504人 (グループ)

事業: 水の総合メーカー

主要 ① (株)OSGウォーターテック (水関連機器の製造)
連結 ② (株)ウォーターネット (水宅配事業)
子会社: ③ (株)銀座仁志川 (フランチャイズ事業)





家庭用ウォータークーラー



業務・産業用 自販機





「ステハジ」プロジェクト

“使い捨ては恥ずかしい”という考え方を通して
誰でも(Everyone) (子供から高齢者・企業・自治体など)、
毎日(Everyday)どこでも(Everywhere)少しの意識と行動で、
海洋プラスチック問題や使い捨てから生まれる、その他様々な社会課題を
個人・企業・自治体が一体となって啓発・実践し
みなさんと一緒に行動変容に取り組むプロジェクトです。
「さあ、みんなで サステナブル はじめよう」



※ステハジプロジェクトはOSGコーポレーションの商標登録です

専門的な知識や情報がなくても、子供から高齢者まで、全ての世代が一緒になって取り組める



貧困を無くそう

- ・映画「セカイイチオイシイ水」企画
- ・公益社団法人アジア協会とのコラボレーション
- ・プロジェクトのチャレンジ達成により、アジアへの井戸寄贈



すべての人に健康と福祉を

- ・マイボトル普及によりこまめな水分補給をするライフスタイル
- ・健康マスター検定100%取得
- ・「健康経営」への取り組み

パートナーシップで目標を達成しよう

- ・マイボトルパートナー
- ・万博共創プログラムとしてチャレンジの創出



安全な水とトイレを世界中に

- ・無料で給水できる「給水スポット」を全国に
- ・ニッポン全国オアシスロード



海の豊かさを守ろう

- ・ペットボトル50億本削減チャレンジでゴミ削減
- ・マイボトル普及活動
- ・海ゴミアワードのチャレンジ



働きがいも経済成長も

- ・ステハジプロジェクトの実施で社会貢献意識を高め日々の仕事のモチベーションUPに



気候変動に具体的な対策を

- ・こまめな水分補給ができる街のオアシスを拡大していく
- ・ペットボトル削減活動によりCO2削減
- ・熱中症声かけプロジェクト



つくる責任 つかう責任

- ・使い捨ては恥ずかしいという考え方を啓蒙
- ・「ステハジ」をテーマにしたモノづくり・企画

〈宣言〉

800万t/年
プラスチックごみが海洋に流入

プラスチックの量が
魚の量を超える

コロナ禍で
温室効果ガス **8%** 削減を実現
これを10年継続することができなければ

ホットハウス・アースへ
異常気象 制御不能



使い捨てプラ25%削減

※環境省：2019年「プラスチック資源循環戦略」



気温上昇1.5°Cに抑える

※パリ協定：2015年「国連気候変動枠組条約」

世界が直面する社会的問題に対して OSGは…



1 「ステハジ」プロジェクト
「ペットボトル50億本削減」チャレンジ



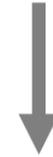
2 「ステハジ」プロジェクト
「みんなで広げる給水スポット」チャレンジ



1 「ステハジ」プロジェクト
「ペットボトル50億本削減」チャレンジ



年間ペットボトル244億本 生産



ペットボトル市場

新たな市場

喉が渴いたらペットボトル購入 → 新たな日常（未来）に向けて

14 海の豊かさを
守ろう



「社会貢献型商品」の普及で削減

電解水素水／ウォーターサーバー／冷水器／
アルカリ自動販売機 などの社会貢献型商品を
自宅や、職場・学校、いつものドラッグストア、
お気に入りの飲食店や美容室。
いつでも、中身が無くなれば給水する。
そんな、新たな日常（未来）のスタートです。

社会
貢献型
商品



13 気候変動に
具体的な対策を



脱炭素(CO2)問題について削減



ブナの木がCO₂を削減!
私たちも一緒にCO₂を削減しよう!

14 海の豊かさを
守ろう



「マイボトルでの飲み物の持ち歩き」 の普及で削減

エシカルな習慣が日常に。

喉が渴いたら、無意識に「ペットボトル」を買っていた。

そう、つい昨日まで、意識せずに、コンビニやスーパーで、

ペットボトルを選んでいただけ、

ちょっと、マイボトルを持ち歩いてみると

経済的で、ごみにもならない。

(家庭に溜まるペットボトルの管理もなくなる)

そんな、新たな日常（未来）のスタートです。



表3 「マイボトルを持ち歩く理由は何ですか」 についての回答

	全体 (1624)	男性 n=881	女性 n=743	男女差
	(%)			
どこでも好きなときに飲めるから(移動中など)	63.1	62.4	63.8	1.4
ペットボトルや缶飲料を買うより経済的だから	52.8	48.8	57.5	8.7
自分の好きな飲み物を持参できるから	49.0	48.0	50.2	2.2
保温・保冷ができるから	31.5	29.4	33.9	4.5
熱中症対策・水分補給のため	27.8	24.2	32.0	7.9
エコ(環境)のため、ゴミ削減のため	26.5	23.5	30.1	6.7
ペットボトルや缶のゴミを捨てるのが面倒だから	10.3	10.2	10.4	0.1
カフェでテイクアウトのドリンクが割引になるから	4.4	4.5	4.3	0.2
オシャレだから	1.8	1.7	2.0	0.3
その他	1.4	1.8	0.9	0.9

男女差青字・・・男性のほうが数値が高い

男女差赤字・・・女性のほうが数値が高い

マイボトルに関する意識調査の結果(調査:株式会社プラネット:2020年1月)

14 海の豊かさを
守ろう



学校関連との連携 「子供たちとの共創」で削減

多くの子供たちは、毎日学校に通うときには、
「マイボトル」を持って通学しています。

朝、子供に「水筒持った？」の声

あれ？ 大人は毎日持ち歩いているのかな？

子供たちが「SDGs子供先生」になって大人たちへ、SDGsへの啓発。

「大人たちには一番効果的」かも知れません。

出張事業などでの子供たちへの啓発。





「ステハジ」プロジェクト 2 「みんなで広げる給水スポット」チャレンジ

「みんなで広げる給水スポット」チャレンジ

自宅や、職場・学校、

いつものスーパー・ドラッグストア、

お気に入りの飲食店や美容室。

いつでもどこでも、マイボトルの中身が無くなれば給水する

そんな、新たな日常（未来）のスタートです。

仕事先なら自社はもちろん、

訪問先の取引先でも給水させてもらう。

学校で無くなれば学校で給水する。

給水スポットの普及で給水の輪を広げ、

新たな日常（未来）持続可能な社会を目指します。





私の給水スポット



自宅が給水スポット

いつでも

出かけるときには

マイボトルに飲み物を給水



私たちの給水スポット



職場やお取引先など

気の知れた仲間が、

マイボトルの中身が無くなれば

給水できる場所



みんなの給水スポット



誰でも給水できる場所

どこでも給水が当たり前、

ドラッグストア・飲食店・複合施設などが

給水場所へ

「夏の社会的健康課題“熱中症”」の予防対策に

熱中症は、
 2015年以降、5万人を超える人達が緊急搬送されています。
 しかし、熱中症は誰でも対策を行えば予防ができます。
 その対策の一つに「こまめな水分補給」を
 行うことは欠かせません。
 いつでも、どこでも給水できる環境は、
 熱中症対策にもつながっています。



※2009～12年は7～9月、13～14年は6～9月、15～19年は5～9月の統計。（総務省消防庁資料より 2020年）



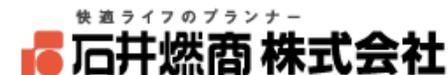
「ステハジ」プロジェクト

「ペットボトル50億本削減」「みんなで広げる、給水スポット」チャレンジ

共創メンバー



“使い捨ては恥ずかしい”という考え方を通して
誰でも (Everyone) 毎日 (Everyday) どこでも (Everywhere)
少しの意識と行動で、海洋プラスチック問題や使い捨てから
生まれる、その他様々な社会課題を、個人・企業・自治体が
一体となって実践するプロジェクトです。





TEAM
EXPO
2025

大阪・関西万博

「TEAM EXPO 2025」プログラム 共創チャレンジ

「ステハジ」プロジェクト スタートミーティング

■主催：株式会社 OSG コーポレーション EXPO2025 プロジェクト

■後援：公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会



岡島 美佳

公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会
広報戦略局 戦略事業部 戦略事業課 参事



マクティア マリコ

一般社団法人 Social Innovation Japan
代表理事 / mymizu 共同創設者



西野 尚至

象印マホービン株式会社
広報部 部長



金子 真也

八尾トヨヨー住器株式会社
代表取締役社長



今中 泰俊

八尾トヨヨー住器株式会社
SDGs 推進リーダー

2021.8.7 (土) 16:00-17:00

参加無料

2 飢餓を
ゼロに



9 産業と技術革新の
基盤をつくらう



1 貧困を
なくそう



5 ジェンダー平等を
実現しよう



3 すべての人に
健康と福祉を



12 つくる責任
つかう責任



15 陸の豊かさも
守ろう



6 安全な水とトイレ
を世界中に



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



10 人や国の不平等
をなくそう



8 働きがいも
経済成長も



14 海の豊かさを
守ろう



11 住み続けられる
まちづくりを



16 平和と公正を
すべての人に



4 質の高い教育を
みんなに



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



13 気候変動に
具体的な対策を



ブルーオーシャン作戦

日本とアジアをつなぐ ビーチクリーン

～世界2位。1人あたり35kgを消費するプラ包装ごみをオフセット～

【開催日】

2022年 **11月19日**

10:00～12:30

受付開始 9:30
小雨決行／荒天延期



01

海ごみ拾い体験



02

プラ干狩り体験



03

国際交流体験



04

ステハジ

「ステハジ」アート体験



- 大阪メイン会場限定 -

2050年プラスチックごみ体験

- 「ステハジ」特別企画 -

MY PLASTIC OFFSET

協力企業



【共催】公益社団法人アジア協会アジア友の会

「ステハジ」プロジェクト

【後援】大阪府 株式会社OSGコーポレーション

株式会社ウォーターネット



大阪府



water*net

「日本とアジアをつなぐビーチクリーン」とは

海洋には毎年800万tもの海洋プラスチックごみが流入していると言われています。その排出国の上位3位(1位中国/2位インドネシア/3位フィリピン)が東アジアに集中しており、このままだと2050年には海洋プラスチックごみの量が、魚の量を超えてしまうとも言われています。

そこで今回は、インドネシア・フィリピン・日本をオンラインでつないだ国際交流を含めたビーチクリーンアップを実施します。是非、日本とアジアのごみ事情の違いを体験してみてください。

また日本はプラスチック包装容器ごみ1人あたりの排出量が2位。その量は年間1人あたり35kgとも言われています。そこで日本の各会場では、この35Kgの包装プラごみをオフセットを目的とした「MY PLASTIC OFFSET」やビーチクリーン体験を元にした大人も子供も一緒に楽しめる回収したプラスチックごみを使った「ステハジ」アート体験などを実施します。

個人・企業・自治体・団体、みんなで一緒にビーチクリーンから新たなサステナブルを上げませんか。

チャリティー参加費：300円

※大学生以下は参加費無料。
※参加費は、アジア協会を通してアジアのごみ回収支援に使用されます。

■ 開催日

2022年11月19日(土) 10:00~12:30

※受付は9:30より開始します。

※個別体験は14:00まで

■ 開催場所

【大阪メイン会場】

大阪府貝塚市 二色の浜公園「二色の浜」

【東京サテライト会場】

東京都大田区 城南島海浜公園「つばさ浜」

【その他、全国6箇所も同時開催】

北海道/新潟/宮城/愛知/広島/福岡会場

■ 持ち物

マスク着用/軍手・ゴム手袋/

マイボトル(会場には給水スポットを準備しています)

※可能な方は火ばさみ/ザル(網目5mm前後)/

スコップ/青色の入った小物着用

[開催スケジュール]

9:30 受付開始

10:00 イベントスタート

12:00 海外とのWEB交流

(フィリピン/インドネシア/日本)

12:30 全体イベント終了

●大阪メイン会場●

12:30 2050年海洋プラごみ体験 継続

13:00 完全終了

●各会場●

12:30以降 「ステハジ」アート体験 継続

海外とのWeb交流体験 継続

■ お申し込みについて

※参加には事前のお申し込みが必要です。お申し込みは右記の二次元コードよりお願いします。

※お申し込み期限は 11月11日(金)18時までです。

